時事新報

東京　明治十六年十月二十日　土曜日　第四百九十六號　日曜日休刊　定價金三錢

公判

○大審院宣告

福島縣岩代國耶麻郡三吉村
平民覺太郎長男農業
大堀喜太郎
明治十六年二月二十四年

兇徒聚衆被告事件ニ付明治十六年二月十九日福島輕罪裁判所若松支廳ニ於テ刑法第百卅七條同第六十九條ニ依リ重禁錮三年ニ處スト言渡タル確定裁判ニ對シ明治十六年九月十九日大審院檢事長渡邊驥ハ職權ヲ以テ非常上告ヲナシタリ其要領ハ被告喜太郎ノ所爲タル公判始末書其他一件書類ニ據ルニ暴動ノ際即チ明治十五年十一月廿八日ニハ他用ノ爲メ新合村赤城平六宅ヘ到リ居タルコ明瞭ナルモ其嘯聚ニ應シ煽動シ勢ヲ助ケタルノ證憑毫モアルコナケレハ法律ニ於テ罰スヘキ者ニ非サルヤ明ナリ然ルニ原裁判所カ此ノ如キ無證ノ事實ニ對シ刑ヲ言渡シタルハ不法ノ裁判ナリトス依テ治罪法第四百三十五條ノ成規ニ從ヒ非常上告ヲ爲シ破毀ヲ求ムト云ニアリ

大審院ニ於テ公式ヲ履行シ專任判事ノ報告ニ因リ立會檢事ノ意見ヲ聽キ判決スル理由ハ

原裁判所カ據テ以テ裁判セシ其證憑タル被告カ擧動及ヒ相當官吏ノ調書トハ何等ノ點ニ係リシモノヤ現場及ヒ本部ニ於テ差押タル證據物件トハ如何ナルモノナルヤ共犯人ノ陳述トハ如何ナル人ノ如何ナル陳述ナリシヤ其判文中之ヲ示サヽレハ之ヲ知ルニ由ナキノミナラス一件書類中ニ徴照シテ又斯ク認知シ得ヘキモノアルナシ要スルニ被告ノ所爲ハ道路開鑿不服ノ出訴事件ニ干渉セシ事實ハ明白ナルモ明治十五年十一月廿八日人民カ喜多方警察署ヘ喧閙セシ暴動ニ關與セシ證跡アルヲ見出サヽルナリ此事實ハ法律ニ於テ罰スヘキ所爲ニ非サルニ原裁判所カ刑法第百卅七條同第六十九條ニ問ヒ重禁錮三年ニ處斷シタルハ治罪法第四百三十五條ノ所謂法律ニ於テ罰セサルノ所爲ニ對シ刑ヲ言渡タルモノトス因テ同條第二項ニ據リ原裁判ヲ破毀シ大審院ニ於テ直チニ裁判スル左ノ如シ

判決

前條ノ理由ノ如ク大堀喜太郎カ被告事件ハ法律ノ罰スヘキモノニ非ス即チ治罪法第三百五十八條ニ依リ無罪直ニ放免ス

大審院ニ於テ檢事澄川拙三立會宣告ス

明治十六年十月八日

裁判長判事 岡內重俊
專任判事 武久昌孚
判事 關義臣
判事 昌谷千里
判事 小村壽太郎
書記 篠原安津忠

時事新報

株式取引所並ニ米商會所

昨年十二月廿七日ノ諸布告ヲ以テ株式取引所並ニ米商會所及ヒ其仲買人ノ納税ニ關スル條例規則ヲ改定シ本年四月一日此新法實施以來仲買人等ハ課税ノ從前ニ比シテ甚タ大ナルニ辟易シテ業ヲ營ムノ氣力ナク斷然會所取引所ニ出入スルコヲ廢シタルヲ以テ昨日マデハ各其市府ノ中心トモ云ハレタルサシモ熱閙ノ町々モ忽ナ替ハル今日ノ光景、鴟梟晝鳴キ狐狸夜行キ家々ノ門前雀羅ヲ設クベキ悲慘ノ境域ト變シタリ是ニ於テカ實況視察ノ官員アリ情狀哀訴ノ商人アリテ世論頗ル喧ク終ニ商賣社會ノ大問題タルニ至リタリ斯クテ數月ヲ經過スルノ後八月六日ニ至リテ昨年十二月ノ諸布告ヲ改正スル數種ノ布告發令ニナリ株式取引所ニ於テハ金銀貨幣ノ二ケ月以內定期取引ヲモ差許サレタルヲ以テ大ニ從前ノ衰態ヲ回復シ不日又四月以前ノ熱閙ヲ見ルニ至ルベシト思ヒノ外仲買人ノ門前ハ雀羅梟叫依然トシテ昔ニ異ナラズ是レ將タ何等ノ原由アリテ然ルモノカ

昨年十二月前記ノ諸布告ヲ以テ制定シタル税率中最モ人ノ注意ヲ惹クモノハ米商會所ノ仲買人ニシテ定期賣買ヲ爲スキハ賣買双方ヨリ約定代金高ノ千分ノ五ヲ納税セシメ株式取引所ノ仲買人ニシテ公債證書並ニ諸株式ノ定期賣買ヲ爲スキハ賣買双方ヨリ約定代金ノ千分ノ一、金銀貨幣ノ取引ヲ爲スキハ賣買双方ヨリ取引代金高ノ千分ノ二ヲ納税セシムルコ是ナリ今我政府ノ明治十六年度歲出入豫算表ニ依ルニ株式取引所並ニ米商會所及ヒ其仲買人ヨリ收入スベキ税額百餘万圓ノ中ニ就キ株式取引所ノ仲買人ヨリ收入スベキモノ七十六万圓米商會所ノ仲買人ヨリ收入スベキモノ十六万圓ナルガ故ニ税源ノ大部分ハ正ニ仲買人ニ屬スルモノト云フベキナリ然ルニ本年四月以來ノ實況ニ於テ米商株式共ニ營業廢止同樣ニシテ會所取引所ノ役員ハ圍碁將棊ニ閑日ヲ消シ仲買人ハ終日店頭ニ孤坐シテ眠ヲ思ヒ回復ノ期ノ何レノ日ニ在ルヤヲ知ル者ナシ斯クノ如キ有樣ニシテ果シテ後來ニ持續シ去ランニハ豫算百餘万圓ノ中大部分ハ永久國庫ニ入ルノ期ナクメ止ムベキヤ甚ダ明白ナリ

世界ノ先例ヲ見ルニ一國ノ政府ガ税金ヲ課スルノ趣意タル或ハ單ニ金ヲ得ンガ爲メナルコアリ或ハ金ヲ得ルノ傍ニ社會ノ一害ヲ除カント希望シ經濟論ニ調合スルニ道德論ヲ以テシタルモノモアリ今日本政府ニテ相場所ニ課税スルハ其趣意何レニ在テ存スルヤヲ明知シ難シト雖ドモ恐ラクハ前二者ノ其一ニ居ルコヲ免レザルベシ假リニ其目的ヲシテ單ニ金ヲ得ルニ在ル者ト定メンカ世ノ諺ニ大欲ハ無欲ニ似タリト云ヘルコアリテ税金ヲ課スルニ當リ單ニ其税率ヲ大ニシタリトテ必ズシモ多額ノ收入アルヘキモノナラズ税率ノ小ナルモノ却テ其收入ノ多キヲ見ルハ古今ノ實例ニ乏シカラザルナリ某ノ税率非常ニ大ナルキハ納税者ハ種々ノ方略ヲ廻ラシテ税網ヲ避ケンコヲ試ムベク政府ハ脱税ノ必無ヲ期シテ非常ニ其取締ヲ嚴密ニセントスレバ得ル所ヲ以テ失フ所ヲ償ハザルノ恐アリ好シヤ當初幾期ノ間ハ得失相償フコヲ得ルトスルモ其取締果シテ嚴密ニシテ實際脱税ノ方策ハ無益ノ勞タルコ明白ナルニ至レバ納税者ハ其課税ノ基本タル業務或ハ物品ノ製造賣買等ヲ廢絶シテ全ク其税源ヲ消滅セシムルコアリ是則チ收入ノ多カランコヲ欲スルモノハ先ヅ税率ノ程度ヲシテ其宜シキヲ失ハシメザルコ甚ダ肝要ナル所以ナリ今我政府ノ相場所税ハ其目的單ニ收入ニ在リトスルキハ本年四月以來ノ現狀ニ照シテ實際ト目的ト相去ル甚ダ遠キモノアルヲ察スベシ其原因ハ必ズ種々ノ事情ヨリ成立スルモノナルベシト雖ドモ税率ノ程度如何モ亦其一部分ヲ占ムルモノナリトノ恐アランニハ我政府ガ過去現在ノ實跡ニ鑑ミテ大ニ其税率ヲ改正スルコノ甚ダ肝要ナルハ我輩ノ疑ヲ容レザル所ナリ或ハ又相場所税ノ趣意タル收入ヲ目的トスルニアラズシテ相場ヲ抑制スルヲ以テ第一ノ目的トスルナリトノ說モアランカ我輩ハ此說ヲ信ズルコ能ハズ何トナレバ日本政府ハ米穀金銀ノ相場賣買ヲ以テ社會ノ有害無用物ト爲ス者ニアラズト信スレバナリ抑モ相場所ノ社會ニ對シテ大用アル勝ゲテ云ベカラズ社會ニ商賣ノ存立スル限リハ相場所モ亦存立セザルベカラズ物價ニ高低浮沈アル限リハ必ズ衆智衆力ノ集合スル相場所ナカルベカラズ假リニ今東京横濱等ニ米商會所或ハ株式取引所等ノ存立ナシトセンカ商人等ハ何ヲ標目トシテ其業ヲ營マントスルカ米穀金銀賣ルモ買フモ共ニ其便利ヲ失フノミナラズ商賣上第一ノ緊要事タル氣運ノ如何ヲ察知スルノ手段ニ至リテハ全ク其工夫ヲ失ヒ恰モ外洋航行ノ船舶ニ磁石ノ用意ナキト一般ナルベシ近クコレヲ横濱ノ實況ニ徴センニ當時株式取引所ノ金銀貨賣買ハ殆ト停止ノ姿ナルヲ以テ貿易商人ハ賣買ノ尺度タル銀貨相場ノ高低ヲ知ルニ由ナク止ムヲ得ズ所在兩換店頭ハ立ノ中ニ就キ其日其刻少數ノ貨幣ヲ賣買スル一二兩換人ノ呼聲ヲ聞テ纔カニ天下ノ大勢ヲトスルニ過ギズ其不便ニ加フルニ其危險ノ大ナル實ニ商賣社會ノ大災難ト稱スヘシ殊ニ相場所ノ甚ダ有用ナルハ商賣社會未來ノ氣配ヲ公示シテ物價ノ激變ヲ起サシメザルニ在リ例ヘハ米商ノ如キ一風一雨モ等閑ニ看過セズシテ年穀ノ豐凶ヲトシ隨テ未來數ケ月後ノ價マデモコレヲ高低シテ遺サヾルベシ此等ノ商人ノタメニ會所ヲ公開シ天下ノ衆智ト衆力トヲ集メテ天下一年ノ米價ヲ定ムルノ法ナクンバ各地各人銘々區々ノ相場ニ依賴シ年ハ豐カナルノ兆効既ニ明カナルモ國中ノ米價ハ依然トシテ尚ホ甚タ貴ク或ハ凶作ナラントスルモ米價尚ホ甚タ賤シクシテ人々皆浪費濫用ノ後ニ至リ一朝忽チ饑饉ノ沙汰ヲ聞クコアルベシ此等ノ例ヲ求ムレバ枚擧ニ遑アラズ日本ノ輸出貿易商ガ現時岩代ト英國トノ生糸相場ヲ比較シ又三ケ月後ノ横濱銀貨相場ヲ承知シ紙幣ヲ以テ生糸ヲ買ヒコレヲ英國ニ送リテ賣リ拂ヒ三ケ月後ニ至リテ其代金ヲ落手スル都合ニ爲シ横濱ノ株式取引所ニ到リテ今日ノ定期相場ヲ以テ三ケ月ノ先キ物ヲ生糸代金ノ高ニ相當スル丈ケ銀貨賣渡シノ約定ヲ爲シ置カンニハ安全ニ此業ヲ營ミ得ベシト雖ドモ萬一三ケ月後ノ銀貨相場ヲ承知シ又其賣渡シヲ豫約スルノ自由ヲ有セザランニハ此輸出貿易商ハ正當安全ニ其業ヲ營ムコ能ハザルベシ何トナレバ三ケ月ノ後ニ至リ初メテ時ノ相場ヲ以テ其代金ヲ紙幣ニ換ヘントスルコテハ銀貨ノ相場何樣ニ變化シ此商業終ニ利ニ歸スベキヤ損ニ歸スベキヤ今日ニ算當スルコ能ハザレバナリ是亦相場ノ必用ナル一例ナルベシ斯ノ如ク大切ナル相場ナルガ故ニ日本政府ハ決シテコレヲ有害物ナリト認定スルモノニアラザルコ我輩ノ世人ト共ニ確信スル所ナリ左スレバ此相場所税ノ趣意ハ單ニ收入ヲ目的トシテ除害ノ意ヲ含ムモノニアラザルコ明白ナルベシ然ルニ今米商株式諸相場所ノ本年四月以來ノ實況ヲ見ルニ十分課税ノ目的ヲ達シ得ベシトモ思ハレズ我政府ハ必ズ深ク其原因ヲ求メテ目的ヲ達スルノ新所置ヲ施スニ遲疑スルコナカルベシト信スルナリ

雜報

○御運動　聖上には御運動の爲め每日御苑內なる丸山御習練所へ成らせ給ひ杉宮內大輔に就て槍術の御修行を遊ばされ又內膳課の高橋某と御相手に擊劍の御技倆も遊はさるゝ由

○參內　有栖川熾仁親王殿下並に威仁親王殿下の兩御息所が一昨日赤阪假皇居へ參內ありければ皇后宮より拜謁を賜はり、末御酒宴を開かせ給ひ種々の御物賜はせられて兩御息女所には黃昏頃歸館ありたる由

○巡回　芳川內務少輔は去る十日德島縣に着し巡視畢て一昨十八日福岡縣下三池へ向け出發し清浦參事院議官補は石川縣より去る十一日福井縣に着したり

○丸岡式部助　去る十七日の神嘗祭に伊勢神宮へ勅使を勤めたる式部助兼一等掌典丸岡莞爾君ハ御用を畢りしに付昨日同地を出立して京都へ廻り歸京するとの旨其筋へ電報ありしといふ

○德大寺宮內卿　當時西京に居住さるゝ宮內卿德大寺實則君の御實父某の君にも此程より病氣に罹り昨今餘程の重症なる旨一昨十八日の夕刻同家へ電報ありたるに付昨日の橫濱滊船にて同家家令幷に御親族ハ取敢へす出發有宮內卿にも御見舞のため今明日の中に西京へ向けらるゝよしなり

○安田定則君　安田縣商務大書記官は此程北海道巡視の處御用濟にて昨日午前十一時歸京せり

○判事撿事　一昨十八日判事北條元利君ハ新潟始審裁判所詰に、撿事岡野正理君は靜岡始審裁判所詰に、同別府景通君は大坂始審裁判所詰に命せられたり

○木梨精一郎君　木梨新潟縣大書記官は家族引纏の爲め此程出京なし居りし處本日一同引連れ歸任の筈なり

○出京　宮崎始審裁判所長天野判事ハ去十六日上京せり